

内部監査報告書の改善提案を レベルアップさせる

「経営を支える内部監査の8つの重点課題とその対応策」〔第4回開催分（全8回開催）〕

- 日時 ● 2015年3月10日（火）14:00～17:00
- 会場 ● 東京・飯田橋 『日本出版クラブ会館』
- 講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

大手監査法人で20年近く会計監査を経験し、10数年にわたり内部監査、内部統制、不正調査、リスク管理等のアドバイザー業務を専門に行い、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任。現在、ABボルボ コーポレートオーディット日本担当ダイレクター/UDトラックス株式会社監査役として内部監査の統括及び監査実務に従事。一方で内部監査関連の執筆、講演活動にも従事。最近の著書に「内部監査の課題解決法20」税務経理協会。米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

●講演／内部監査報告書の改善提案をレベルアップさせる

内部監査の価値を決定付けるのは監査報告書に提示される発見事項と改善提案と言っても良いでしょう。ところがこの改善提案をどのように策定するか、どういう視点でレベルアップしたらよいか、という最も大事な実務についての指針やガイドラインは驚くほど少なく参考になるものはほとんどありません。また改善提案の中でも、客観的に捉えやすい業務プロセスに関する提案に比べて、経営管理を扱う経営監査の改善提案はより難しい判断を要する面があり失敗例も少なくありません。

今回は、内部監査報告書の決め手となる発見事項と改善提案について、何をベースにどのような観点から切り出すか、内部統制中心の業務監査と経営領域を扱う経営監査とでどのような違いがあるかなどを検討します。またケーススタディとして実務で陥りやすい悪い提案文を例示して、何が問題となるか、それをレベルアップさせる視点は何かを具体的に提示します。

1. アシュアランス型内部監査報告書の構成と指摘事項・改善提案の位置づけ
2. 業務プロセス監査における改善提案の切り出し方
3. 経営監査における改善提案の着眼点
4. 改善提案のケーススタディ（良い例、悪い例、どこをどう直せばよいか）

●講演をベースとした（グループ）ディスカッション&総括コメント <16:00-17:00>

～参加各社の対応事例や現状の問題意識をシェアする中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社） 企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麴町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

140188	2015 3/10	経営を支える内部監査の8つの重点課題と	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

※裏面もご参照ください